

環日本海大交流を目指した関西経済圏のゲートウェイ 「京都舞鶴港」の機能強化について

【担当省庁】法務省、国土交通省

京都舞鶴港が日・中・韓・露等の人・もの・情報が交流する関西経済圏の日本海側ゲートウェイとしての役割を果たすため、物流面では京都府北部物流拠点の構築による後背地における中核物流拠点の形成、人流面においては「環日本海クルーズ構想（仮称）」によるグローバルな交流・連携の取組を検討しているところであり、環日本海の大交流に向け、以下の機能強化に対して支援していただきたい。

〔新たな価値の創出に向けたロジスティクス機能の強化〕

- 舞鶴国際ふ頭における、船舶の大型化、複数船舶の同時着岸に対応可能な第2バースの整備の促進
- 臨港道路上安久線^{かみあぐ}の整備促進及び当該工事による発生残土の舞鶴国際ふ頭Ⅱ期整備への活用

〔国際・国内一体となった高速海上シームレス輸送の実現〕

- 前島ふ頭岸壁改良工事について、国際・国内一体となった高速海上シームレス輸送の実現に向け、老朽化対策も視野に入れた検討

〔日本海側玄関口としての観光ゲートウェイの機能強化〕

- 第2ふ頭における、大型クルーズ船（16万トン級）が着岸可能な施設整備への支援
- 円滑・迅速な出入国審査を行うために必要となる人員及び審査端末機器等の充実

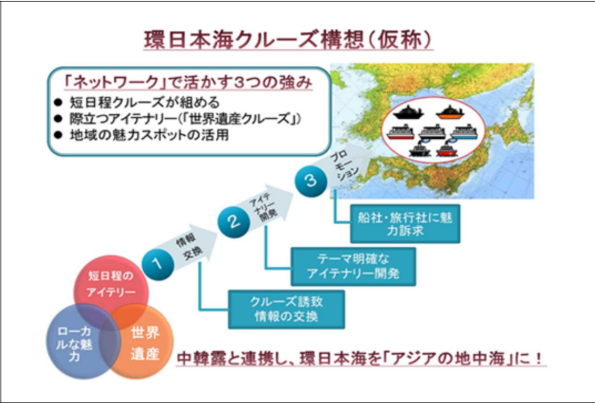
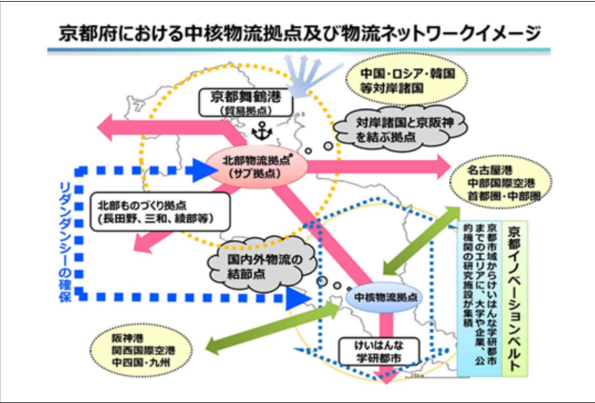
【現状・課題等】

- コンテナの取扱量の増加や新たなバルク貨物の取扱等から早期の国際物流ターミナル（舞鶴国際ふ頭）の機能強化が必要。また円滑な国際ふ頭Ⅱ期整備のため、発生残土の的確なスケジュールの把握が不可欠
- 経済団体、港湾利用者等で構成する「京都舞鶴港振興促進協議会」において、舞鶴国際ふ頭第2バース整備及び第2ふ頭旅客船受入機能強化等について強く要望
- 令和4年2月に国際フィーダー航路が新規開設（1便/週）
- 令和3年度第2ふ頭での大型旅客船（16万t級）受入のため航行安全調査を実施

京 都 府 の担当課	商工労働観光部 経済交流課 (075-414-4844) 商工労働観光部・建設交通部 港湾局 港湾企画課 (0773-75-0192)
---------------	--

■京都府の検討する構想等

- ▶ 京都府総合計画（令和元年10月策定）
京都舞鶴港や高速道路網を最大限に生かした新たな産業拠点の形成を推進
- ▶ 京都府北部物流拠点の構築
- ▶ 環日本海クルーズ構想（仮称）



▶平成29年度から「京都府IoT物流拠点推進プロジェクト」を立ち上げ、IoT、AIを活用する「高機能物流拠点」や京都舞鶴港との連携を視野に入れた北部地域のサブ拠点の構築について検討

▶中・韓・露各港と連携し、環日本海をクルーズ市場における地中海に見立て、新規航路の誘致により国際交流人口の増加を目指すもの

■機能強化の方向性

	要望箇所・内容
舞鶴国際ふ頭	・ 舞鶴国際ふ頭第2バースの早期完成 ・ 直轄事業で整備中の舞鶴国際ふ頭への臨港道路（上安久線）の早期完成 ・ 臨港道路上安久線の工事発生残土を舞鶴国際ふ頭のⅡ期整備（埋立て土）として活用
前島ふ頭	・ 前島ふ頭の3号岸壁の老朽化対策に併せた国際フェリー就航に資する改良工事を直轄事業により着手
第2ふ頭	・ 大型クルーズ船（16万トン級）が旅客受入施設が整った第2ふ頭に着岸できるよう施設整備に対する支援

■コンテナ・貨物取扱量の推移（空コンテナ含む）

- ▶ 令和元年のコンテナ取扱量は平成22年の約3.5倍（R元：19,812TEU）
- ▶ 近年のコンテナ貨物の増加に加え、道路ネットワークの充実等により、更なる新規貨物の増加が見込まれ、取扱能力の機能強化が必要

■京都舞鶴港の国際定期航路の状況（令和4年3月末現在）

- ▶ 定期コンテナ航路
 - 日韓航路 3便/週（令和2年4月 1便増便）
 - 国際フィーダー航路（舞鶴～神戸） 1便/週【令和4年2月新規開設】

■クルーズ船寄港回数・乗客数の状況

- ▶ 令和元年の寄港回数は34回で乗客数が過去最高の63,300人を記録
- ▶ 令和3年の寄港回数は4回で乗客数は600人